

全体計画 (2 / 6)

No.	技術基準条文	設計項目	説明ステータス						説明スケジュール												今後の説明予定		備考					
			①			②			2024年度			2025年度									今回	次回						
			1.防護対象の 特定	2.設計対象 施設の特定	3.基本的な 設計の考え方	4.詳細な 設計プロセス	5.代表の 具体的な設計	6.全ての 評価結果	~1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	11月	12月	2月				3月 (1回目)	3月 (2回目)			
18	第8条 外部衝撃 (火山)	降下火砕物の堆積荷重に対する防護設計							①															② 【5.】	② 【6.】	降下火砕物の堆積関連： No.18,31(2項目)セット 電巻関連： No.12,19,26(3項目)セット		
19		粒子の衝突に対する防護設計									① → ①													② 【5.】	② 【6.】			
20		閉塞に対する防護設計								①												②						
21		磨耗に対する防護設計									①												②					
22		絶縁低下に対する防護設計									①												②					
23		腐食に対する防護設計	※3												①													
24		中央制御室の大気汚染に対する防護設計		※2											①													
25		第8条 外部衝撃 (落雷)	落雷に対する防護設計								①																② 【6.】	
26	第8条 外部衝撃 (その他)	風(台風)に対する防護設計																						② 【5.】	② 【6.】	降下火砕物の堆積関連： No.12,19,26(3項目)セット		
27		凍結に対する防護設計									① ②																	
28		低温及び高温に対する防護設計									① ②																	
29		降水に対する防護設計									① ②																	
30		塩害に対する防護設計									① ②																	
31		積雪の堆積荷重に対する防護設計									①														② 【5.】		② 【6.】	降下火砕物の堆積関連： No.18,31(2項目)セット
32		積雪による閉塞に対する防護設計									①												②					
33		生物学的事象に対する防護設計									①																	
34		有毒ガスに対する防護設計			※2										①													
35		電磁的障害に対する防護設計																									② 【6.】	
36	第8条 外部衝撃 (航空機)	航空機落下に対する防護設計	第1回申請までで認可済み																									
37	第9条 不法侵入	不法侵入防止に係る設計	第1回申請までで認可済み																									
38	第10条 閉じ込め	閉じ込めの機能に係る設計																								変更なし条文		

※1：「新設設備および既設設備の改造に関する設計」にて設計変更に伴う影響確認を合わせて説明
 ※2：既認可通りの設計で制御室の居住性の確保を考慮しており、設計対象施設として特定する対象がないことを確認したため、「2.設計対象施設の特定」までを説明の範囲とする。
 ※3：降下火砕物が接触する可能性のある施設に使用している材料が、当該環境で腐食し難いことを確認したため、「1.防護対象の特定」までを説明の範囲とする。

- ・審査会合の実施頻度は1回/月として記載。今後、設計項目及び説明時期を含め実施状況に応じて適宜見直す。
- ・廃棄物管理施設は、再処理施設の条文及びルールと同様であるため、再処理施設と併せて説明する。

【凡例】

- ①防護対象・設計対象施設の特定，基本的な設計の考え方および設計プロセス
- ②設計プロセスに基づく具体的な設計および評価
- ：説明を実施した範囲（説明ステータスは説明を完了したもの）
- ▨：説明対象外の範囲
- ：今回の説明範囲
- ：審査会合が無かったことによる変更
- 赤字：前回計画からの変更

○ 5. 「代表の具体的な設計」のうち、「一部説明済み」の項目

No.	設計項目	説明対象施設
3	建物・構築物（FEMモデル）	地下水排水設備（構築物、ハル・エンドピース貯蔵建屋周り）
		建物近傍保管エリア3（G25）
		第1車両保管エリア（G35）
5	機器系（はりの計算モデル）	燃料取扱装置（BWR燃料及びPWR燃料用）
6	機器系（FEMモデル）	燃料取出し装置A
		低残留濃縮度BWR燃料貯蔵ラック（燃料貯蔵プール（BWR燃料用））
		第1チャンネルボックス切断装置A

○ 6. 「全ての評価結果」のうち、物量が多いことなどの理由により分割して説明する項目

No.	設計項目	説明対象施設数		
		前回まで	今回	次回
3	建物・構築物（FEMモデル）	26/53施設	27/53施設	—

参考：残りの説明項目

No.	技術基準条文	項目	
4	第5条,第32条/第6条,第33条 地盤/地震	機器系（機器質点系モデル）	<6.>
5		機器系（はりの計算モデル）	<6.>
6		機器系（FEMモデル）	<6.>
7		配管系（配管系標準支持間隔モデル）	<6.>
8		配管系（多質点系はりモデル）	<6.>
9		配管系（適用範囲を限定した解析手法を用いた設計（消火配管））	<5.> <6.>
10		配管系（多質点系はりモデル（弁））	<6.>
12	第8条 外部衝撃（竜巻）	竜巻に対する防護設計※1	<6.>
13	第8条 外部衝撃（外部火災）	森林火災及び石油備蓄基地火災（重畳含む。）に対する防護設計	<6.>
14		敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発に対する防護設計	<6.>
15		航空機墜落による火災の輻射影響に対する防護設計	<6.>
18	第8条 外部衝撃（火山）	降下火砕物の堆積荷重に対する防護設計※2	<6.>
19		粒子の衝突に対する防護設計※1	<6.>
25	第8条 外部衝撃（落雷）	落雷に対する防護設計	<6.>
26	第8条 外部衝撃（その他）	風（台風）に対する防護設計※1	<6.>
31		積雪の堆積荷重に対する防護設計※2	<6.>
35		電磁的障害に対する防護設計	<6.>
46	第12条 溢水	屋内溢水に対する防護設計	<6.>
48		屋外溢水に対する防護設計	<6.>
49	第13条 薬品漏えい	化学薬品漏えいに対する防護設計	<6.>
58	第17条/第37条 材料構造	機械的強度の確保に係る設計	<6.>
74	第29条 保安電源	電気容量確保に係る設計	<6.>
78	第36条 重大事故	可搬型SA設備の保管及び移動に係る設計	<6.>
113	第47条 計装	重大事故等時におけるパラメータの把握に係る設計	<6.>
117	新設設備および既設設備の改造に関する設計		<6.>

※1：竜巻関連のNo.12,19,26(3項目)は合わせて説明する。

※2：降下火砕物の堆積関連のNo.18,31(2項目)は合わせて説明する。